

令和5年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1 児童の状況及び実態

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への興味関心が高く、すすんで学習に取り組んでいる。 ・授業中に積極的に手を挙げて発言している児童が多い。 ・五十音の読み書きに個人差があり、書き順の間違いや字の乱れ、誤字脱字が見られる。 ・長音、拗音、促音、撥音の表記や助詞「は」「を」「へ」の使い方が十分に身に付いていない。 ・相手に応じた話し方や話し手を見て最後まで集中して聞く姿勢に課題が見られる。 ・自分の思いや考えを言葉でうまく表現できない児童がいる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習に興味をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 ・友達同士でタイムを競いながら計算練習をする等工夫して、楽しみながら学習している。 ・10までの数の加減の計算がスムーズでない。 ・文章題の題意をとらえられず正しい立式ができない児童がいる。 ・求差、求補場面の理解が難しく、計算で求めた数が何の数なのか判断できない。 ・長さや量の比較対象が認識できない。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なことを表す語彙の量を増やし、話や文の中で正しく使う力 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを落とさずに最後まで聞く力 ・自分の考えをもち、言葉で表現する力 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを伝え合おうとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉集めや言葉遊びを行い、書くことを楽しみながら文字を覚えたり、語彙の量を増やしたりしていく。 ・友達の発表を聞いて、質問や感想を伝える活動を多く取り入れることで、話を最後まで聞く姿勢を養う。 ・児童の実態に合ったモデル文やワークシートを作成し、書き方の指導を行う。 ・話型を示し、ペアや少人数での交流を多く設け、友達から認められる経験を積ませることで自信をもたせ、一人ひとりが安心して話せるようにする。
算数	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく計算する力 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面をとらえ立式する力 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で算数が活用される場面を想起し、算数のよさや楽しさを感じながら学ぶ力 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算カードやフラッシュカード、1人1台のタブレット端末を用いて、朝学習や家庭学習で繰り返し練習を行う。 ・具体物や半具体物の操作、デジタル教科書の活用により、題意を捉えやすくする。また、問題中の求めるものが書かれている文に印を付けさせ、問題把握をしやすくする。 ・学んだことを明確にし、次時の学習や生活に結びつけて考えられるようにする。